



創立30周年記念式典 (ホテル紅や)

■ 会長挨拶 小松賢三君



啓蟄も過ぎ、寒さ厳しい諏訪の地にも春の兆しを感じられる今日この頃です。本日大勢のご来賓の方々にお越しいただき、30周年記念式典を執り行われることを光栄に存じあげます。ひとえに地域の皆様、大勢のロータリアン、そして家族の皆様のご理解・ご協力があったの30年と心より感謝申し上げます。私たちのクラブは1993年6月に茅野ロータリークラブをスポンサークラブとして、特別代表堀英文さまをはじめ多くの方々にご尽力いただき34名の会員で誕生いたしました。その歴史を紐解いてみてみれば最初の5年は存在を世間に認知してもらうことを意識し、次の5年はクラブ内部の充実と会員相互の親睦に注力、そして次の5年にクラブのメインテーマである「子育て・親育ち」の確立、クラブの構造改革が行われ

れました。その後は奉仕活動の継続と会員拡大に力を注いでまいりました。しかし度重なる自然災害・国際紛争など社会情勢は激しく変化しクラブの活動は停滞している状況です。なかでも3年に及ぶ新型コロナ感染症は経済・社会活動に大きな影響を与えました。ロータリークラブの活動も縮小を余儀なくされ継続してきた事業の多くが中止となりました。それらを企画し立上げ育ててきた方々にはさぞや断腸の思いと察します。また親睦の機会が減少し会員同士の絆も揺らぎかねない状況です。そんな中で30周年を迎えるのですが私たちのクラブにはチャーターメンバーの3分の1にあたる10余名が在籍されています。「創始の精神」がこの危機を打開してくれるものと信じ30周年のテーマとしたのです。「創立時の想いを10年後に伝えよう」諏訪人の心のよりどころであります「諏訪大社」の社号をいただきクラブ名に掲げた私たちはそれを誇りとしその名に恥じぬよう、職業を通じて奉仕し社会・地域になくなくてはならない存在であり続けるために努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

■ 実行委員長挨拶 高山猛英君



諏訪大社ロータリークラブは、平成五年、未曾有の大冷害の年でしたが、茅野ロータリークラブを親クラブとして発足、今年で創立三十周年を迎えることができました。これもひとえに関係各位と地域の皆様のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。さて、コロナ禍の三年間は、集会、会食がはばかれ、例会すらできない時期が長く続き、創立三十記念式典の開催も危ぶまれましたが、幸い第八波が収束気味になり、ここに記念式典、祝賀会が開催できますのは喜ばしい限りです。当クラブは創立十五周年の際、記念事業として「親育ち」「子育て」支援を標榜するNPO法人「CRIP イン すわ」を立ち上げました。以来十五間にわたり、子育てに不安を持つ親御さんや家族の支援活動に資金的協力を行ってきました

が、諸事情によりこの組織は昨年で解散となりました。長きにわたったこの事業は、地域の多く親御さんに喜ばれ、頼りにされてきましたが、この活動に携わりご尽力頂いた皆様には、心から感謝申し上げます。当クラブは現在、これから地域の子供支援にどう関わっていくのか、新たな方向性を見定める時期になっています。なお、創立三十周年記念事業として、諏訪地区ロータリークラブ関係者を対象にした滝田 栄氏の記念講演、諏訪大社上社境内整備事業への寄付、茅野市・諏訪市・原村へのポータブル蓄電源の寄贈、米山奨学会・ロータリー財団への基金寄付などを予定しておりますが、地域の皆様、またロータリークラブ関係機関に少しでもお役に立てれば幸いです。ロータリークラブの精神は、奉仕と親睦。これからも会員間で切磋琢磨すると共に、地域にとって在って良かったといわれるよう組織として活動を展開する所存ですので、関係各位には、変わらぬご支援とご協力を心からお願い申し上げます。



諏訪大社ロータリークラブ 創立30周年記念式典

2023年3月12日

